

2021年12月作成

貯法 室温保存

## 動物用医薬品

キシリトール注射剤

承認指令書番号 3 動薬第 1871 号

## キシリット注25%

## 【本質の説明又は製造方法】

本剤は有効成分であるキシリトールを25%含有する高張液です。インスリン非依存性にエネルギー源として利用され、抗ケトン作用を示します。

## 【成分及び分量】 本品100mL中

成分	分量
キシリトール	25g

## 【効能又は効果】

糖質及び水分の補給、ケトーシス

## 【用法及び用量】

用時に適切な用量を選択して静脈内に注射する。

## 【使用上の注意】

## 「基本的事項」

## 1.守らなければならないこと

## (一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
  - ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (取扱い及び廃棄のための注意)
- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
  - ・寒冷時に大量に静脈内投与する場合には、本剤を体温程度に温めること。
  - ・小児の手の届かないところに保管すること。
  - ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
  - ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。
  - ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

## 2.使用に際して気を付けること

## (使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

## (対象動物に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

## 「専門的事項」

## (重要な基本的注意)

- ・点滴静注する場合の速度は体重1kg当たりキシリトールとして毎時0.3g以下とすること。
- ・犬へのキシリトールの静脈内投与は、インスリン過剰分泌による血糖値の低下を引き起こすとの報告があるため、十分に観察し、使用の是非を判断すること。

## 【薬理学的情報等】

## (薬効薬理)

有効成分であるキシリトールは、インスリンを必要とせずに細胞内に取り込まれ、エネルギー源として利用されます。また、糖質由来によるエネルギー補給のため、蛋白異化や脂肪酸化を防ぎ抗ケトン作用を示します。なお、投与後にインスリンを分泌する作用を有します。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 500mLプラスチックボトル  
1Lプラスチックボトル

## 【製品情報お問い合わせ先】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1  
フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元

 日本全薬工業株式会社

ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。